

豊中駅周辺再整備構想 説明会

豊中市 都市計画推進部 都市整備課

令和8年（2026年）7月 14日（火）14：00 ～ @大池コミュニティプラザ

1. 豊中駅周辺再整備構想とは

2. 豊中駅周辺再整備構想実現に向けて

2-1 豊中駅周辺再整備構想優先的取組み項目①・②

2-2 豊中駅周辺再整備構想優先的取組み項目③

2-3 豊中駅周辺再整備構想優先的取組み項目④

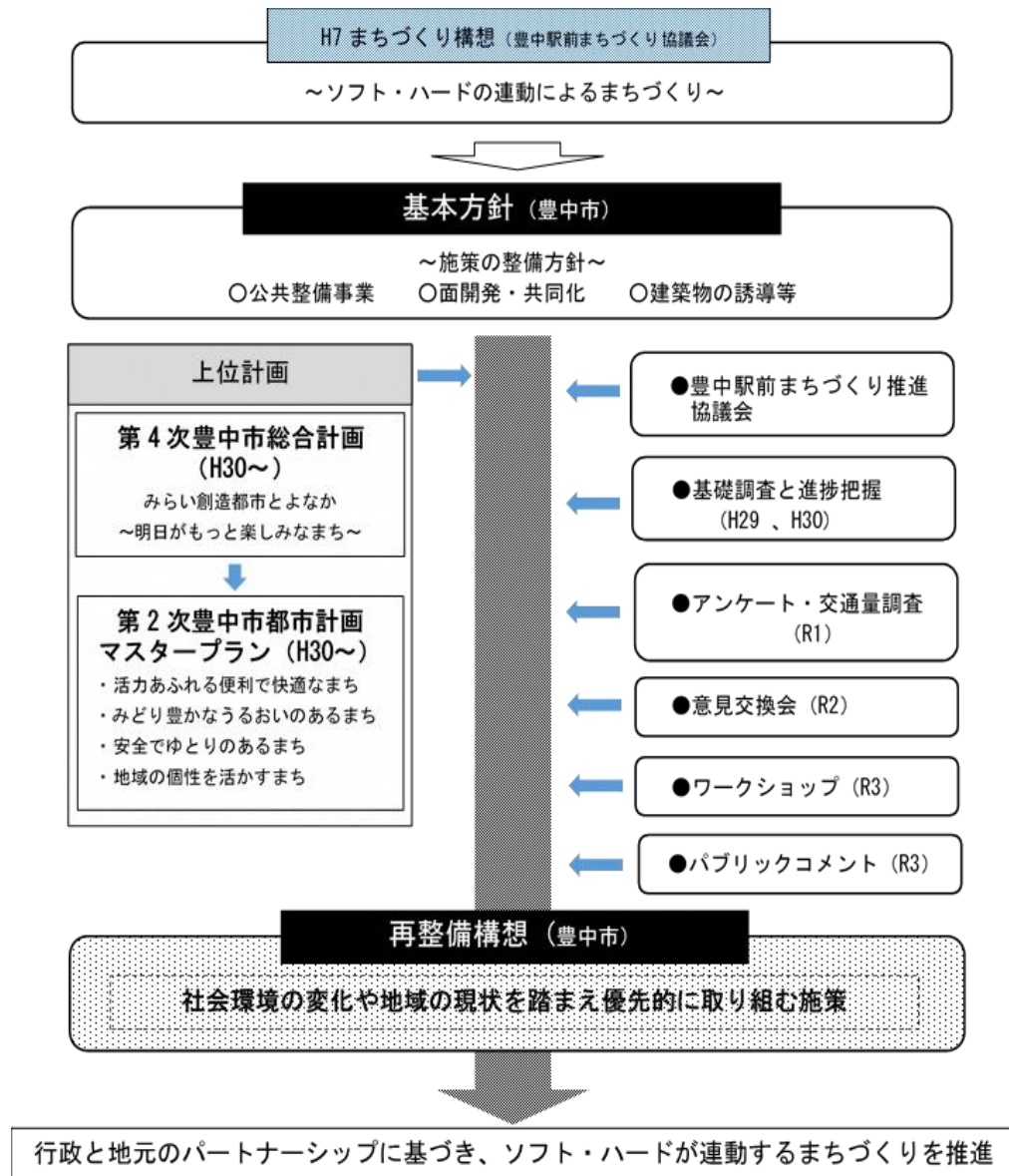
3. まちづくりビジョンについて

1. 豊中駅周辺再整備構想とは

豊中駅周辺再整備構想とは

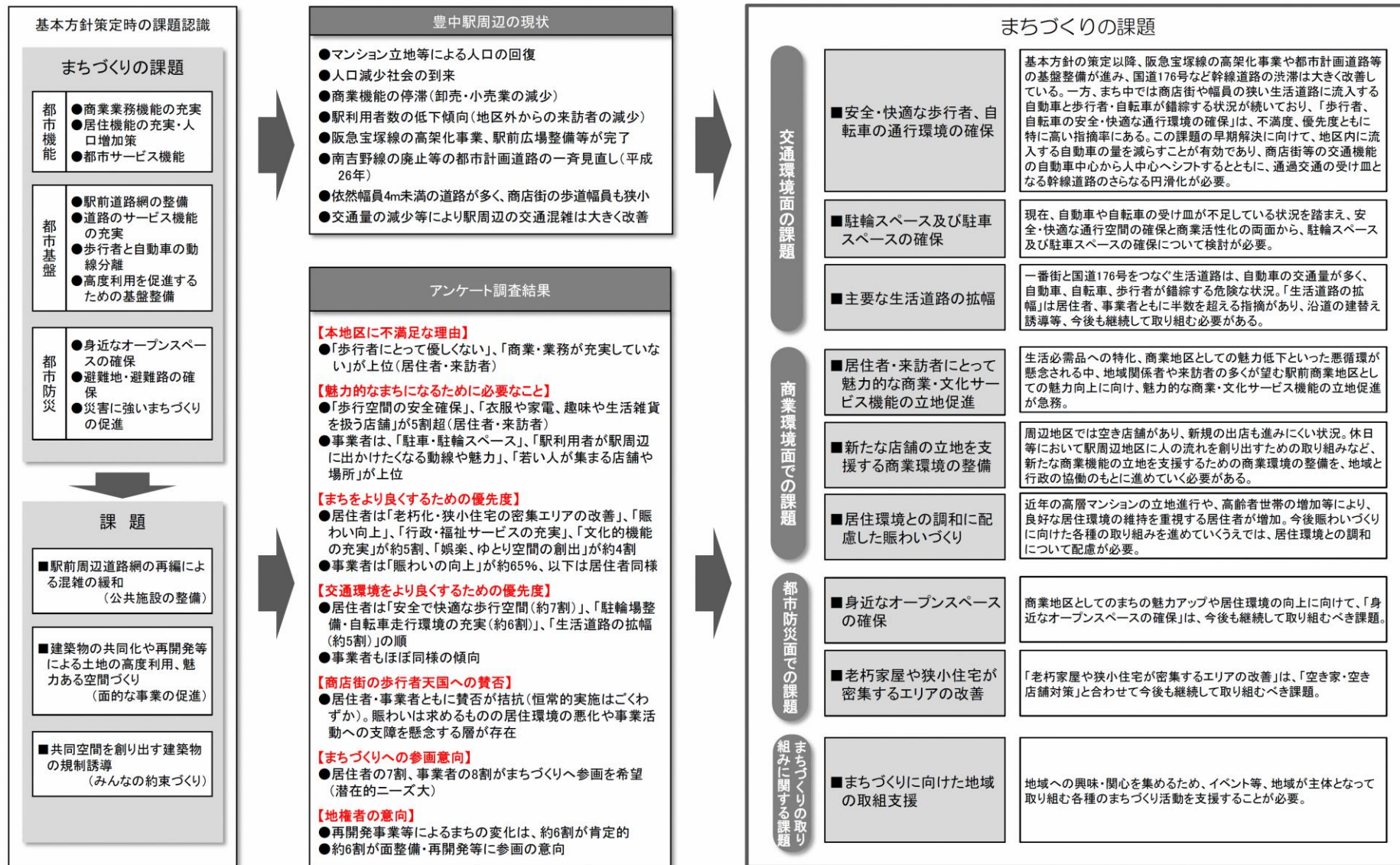


令和3年（2021年）9月策定



現況把握により導き出されたまちづくりの課題

対象地の課題を交通環境・商業環境・防災・まちづくりに分けて整理



まちづくりの方針（基本的な考え方と取組方針）

【基本的な考え方】

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」、新たなつながり・コミュニティの形成

官民のパブリック空間を人中心の
ウォーカブルな空間へ転換

豊中駅周辺地区の賑わい創出と
魅力向上のための取り組みを推進

安全かつ
快適な
交通環境

外壁面の
セット
バック

商業拠点
としての
魅力向上



興味・関心

つながり



交流



【取組方針】

- ①道路空間の再編による歩行者空間の充実と賑わいの創出
- ②再開発や共同化による街区内の防災性能や快適性の向上
- ③建築物等の誘導による歩行者空間やゆとり空間の充実
- ④賑わい創出に向けたソフト施策の推進とまちづくり活動の支援



優先的な取組項目



公共施設整備

①銀座通りの道路空間の再編整備と空間活用方策の検討

- 歩行者・自転車の安全性向上や快適な歩行空間の実現を目指すため道路空間の再配分や通過交通の流入抑制を図ることを検討
- オープンカフェなど、賑わいづくりのための道路空間利用について、地域と協働して検討

②一番街の道路空間の再編整備と空間活用方策の検討

- 車両の速度抑制などにより、歩行者・自転車の安全性向上や快適な歩行空間の実現を目指す。
- 銀座通りと連携し、賑わいづくりのための道路空間の利用について、地域と協働して検討

③豊中亀岡線と東豊中線の交差部分の改良

- 歩行者や車両のより安全で円滑な通行を確保するため、関係機関・地域と協働して検討

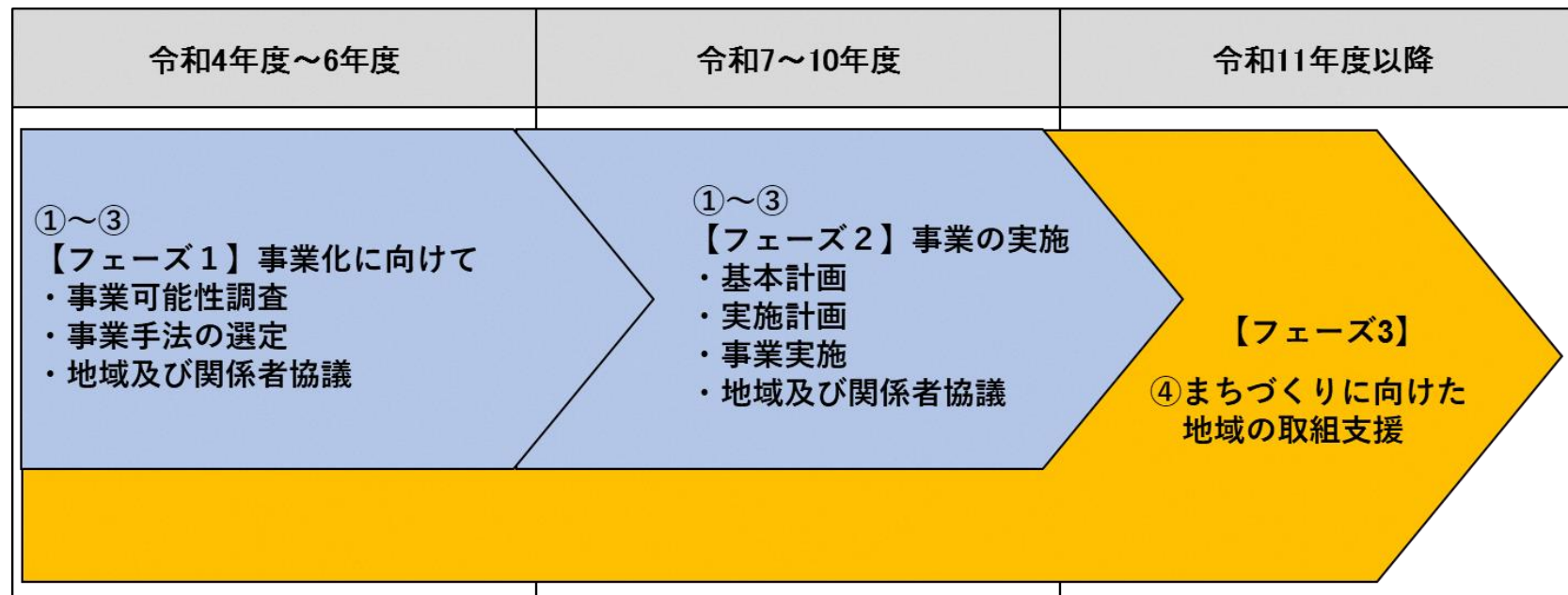
④まちづくりに向けた地域の取組支援

- 地域が主体となったまちづくりへの取組支援
 - ・まちづくりの活動主体に対する支援
 - ・賑わいの創出に向けたイベント展開等

他

スケジュールと進行管理

【今後のスケジュール】



【進行管理について】

フェーズにあわせて、施策の内容及び進捗状況についての調査・分析・評価を行い、その結果を公表するとともに、必要に応じて施策に反映



2. 豊中駅周辺再整備構想実現に向けて

豊中駅周辺再整備構想について

◆◆◆ 豊中駅周辺再整備構想の実現に向けて ◆◆◆

豊中市 都市計画推進部 都市整備課（令和8年3月）

目的

豊中駅周辺再整備構想(以下、「構想」という。)の実現に向け、駅周辺のまちづくりの課題を解決し、まちの価値向上を図るために今後取り組むべき方向性を示したものです。この取り組みを進めることで、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」と「新たなつながり・コミュニティ」の形成の実現を目指します。

まちづくりの方針

まちづくりの取組方針

- 道路空間の再編による歩行者空間の充実と賑わいの創出
- 再開発や共同化による街区内の防災性能や快適性の向上
- 建築物等の誘導による歩行空間やゆとり空間の充実
- 賑わい創出に向けたソフト施策の推進とまちづくり活動の支援

優先的に取り組む施策

公共施設整備による「銀座通り・一番街」を中心とした歩行者空間の拡充と賑わいづくりに向けた道路空間の有効利用

構想の優先的な取組項目

- ① 銀座通りの道路空間の再編整備と空間活用方策の検討
- ② 一番街の道路空間の再編整備と空間活用方策の検討
- ③ 豊中亀岡線と東豊中線の交差点部分の改良
- ④ まちづくりに向けた地域の取組支援

これまでの検討内容(令和3年度から令和7年度)

優先的な取組項目	これまでの検討内容	まとめ
【取組項目①②】 銀座通り・一番街	現行の道路構成における幅員の再配分は困難(道路構造令制限) 交通負荷の軽減を検討(交通量調査・本町南交差点改良の検討) 交通負荷の軽減は見込めず(本町南交差点改良のみでは効果が薄い) 交通動線の再編が必要 (複雑な駅前交差点の簡素化や周囲の道路ネットワークの円滑化等) 事業者等へのヒアリング ・間口が狭い等の理由で、建替え等が満足にできない状況にある。共同化なども含めて考えていかないと変わらない。 ・食事や買い物をはじめ、立ち寄ってみたいくなる、生活していく楽しみを得られる場所が求められている。 ・豊中駅周辺では近年住宅の供給実績がなく、住宅需要は高まっている。	● 公民連携による交通動線の再編、駅前としての賑わい機能導入の実現 ・現行の道路構成における快適な歩行空間の検討 ・関係者等と豊中駅周辺のあり方の検討などを推進 ・交通動線の再編に向けた周辺街区等の面的整備などの整備手法の検討 ・駅周辺の車両交通の軽減や面的整備等により創出される空間への駅周辺として望ましい導入機能の検討(道路の有効幅員の拡幅とその空間と沿道施設の賑わいの創出などを含む)
【取組項目③】 豊中亀岡線と東豊中線の交差点部分	・交差点部分の改良と歩道整備を進めるため、大阪府と連携して用地買収を開始した。	● 公共整備の推進 ・継続的な地権者協議による交差点部分の整備促進
【取組項目④】 地域の取組支援	・人工デッキの活用など、他団体等と連携して取組みを開始した。 ・まちの将来像を共有するビジョンと持続的なまちづくりを実施する「とよなかベース」の組織運営を開始した。 事業者等へのヒアリング ・エリアマネジメントとして成立させるには、民間と行政との連携やイベントができる広場が必要。	● 主体的・自立的な組織運営に向けた取組みの実施 ・現在の取組みを通じた公民連携のエリアマネジメントの構築

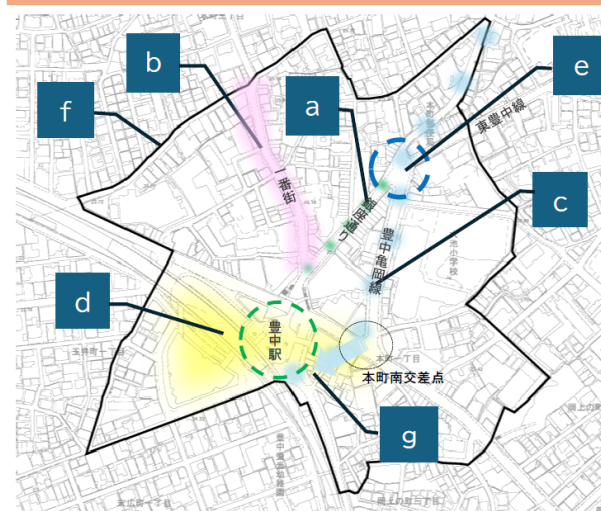
豊中駅周辺再整備構想について

目指す将来像と実現するための取組

優先的な取組項目について、目指す将来像を設定し、実現に向けた取組を定めました。

優先的な取組項目	方向性	実現に向けた取組	目指す将来像
【取組項目①②】 銀座通り・一番街	1-1 現行の道路構成における通行空間の整備	[a] ピクトグラムの整備など自転車通行空間の整備方法を検討し、歩行者・自転車の安全性の向上につなげます。	● 快適な歩行空間の実現による歩行者・自転車の安全性の向上
	1-2 道路空間拡幅のためのセットバックや低層階への賑わい施設の誘導	[b] 建築物の建替時にセットバックや低層階への賑わい施設誘導のルール化を検討します。	● 沿道建物の更新に併せた賑わい施設の誘導策を構築して滞在性・回遊性の向上
	1-3 面的整備による複雑な駅前交差点の簡素化	[c] 円滑な動線の確保、交通負荷の軽減に向け、駅前の交差点形状の再編を目指します。 [d] 駅周辺の効果的な一体活用を目指します	● 銀座通り・一番街の車両交通負荷の軽減
【取組項目③】 豊中亀岡線と東豊中線の交差点部分	2-1 豊中亀岡線の歩道整備及び交差点改良	[e] スクランブル交差点を改良し、歩行者のたまり空間及び歩道を整備するとともに、車両の流動性向上による渋滞の改善につなげます。	● 歩行者の安全性の向上及び車両の流動性の向上による交通渋滞の改善
【取組項目④】 地域の取組支援	3-1 「とよなかベース」の活動と道路などパブリックスペースの活用による賑わい創出	[f] 「とよなかベース」の活動によりまちの個性を創出します。 [g] 既存空間の活用方法を検討し、構想の実現により創出されるパブリックスペースを地域とともに育てます。	● エリアマネジメントによる市民と行政等が連携したまちづくりによるまちの個性の創出

取組のイメージ

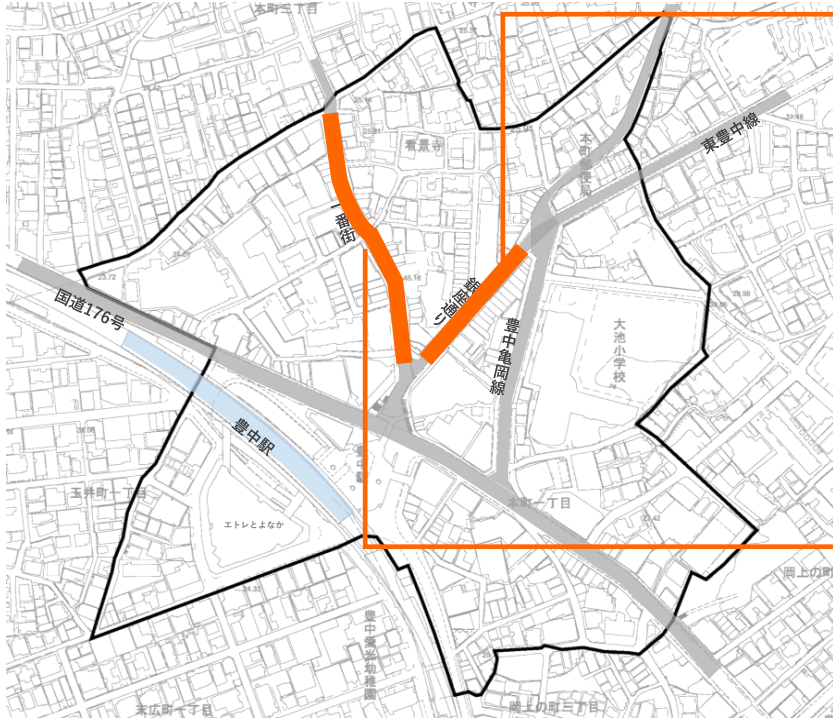


目標スケジュール(予定)

方向性	令和7年度から令和10年度【フェーズ2】	令和11年度以降【フェーズ3】
1-1 現行の道路構成における通行空間の整備	[a]通行空間の整備	
1-2 道路空間拡幅のためのセットバックや低層階への賑わい施設の誘導	制度設計 [b]建替時のルール化の検討	
1-3 面的整備による複雑な駅前交差点の簡素化	地権者協議	[c]交通動線の再構築 [d]一体的活用
2-1 豊中亀岡線の歩道整備及び交差点改良	地権者協議	[e]交差点改良・歩道整備
3-1 「とよなかベース」の活動と道路などパブリックスペースの活用による賑わい創出	[f]「とよなかベース」の活動	[g]パブリックスペースの活用

2 - 1. 優先的取組み項目①・②

優先的な取組み①・②



①銀座通りの道路空間の再編整備と空間活用方策の検討

- 歩行者・自転車の安全性向上や快適な歩行空間の実現を目指すため道路空間の再配分や通過交通の流入抑制を図ることを検討
- オープンカフェなど、賑わいづくりのための道路空間利用について、地域と協働して検討

②一番街の道路空間の再編整備と空間活用方策の検討

- 車両の速度抑制などにより、歩行者・自転車の安全性向上や快適な歩行空間の実現を目指す。
- 銀座通りと連携し、賑わいづくりのための道路空間の利用について、地域と協働して検討

優先的な取組み①・②に関する検討

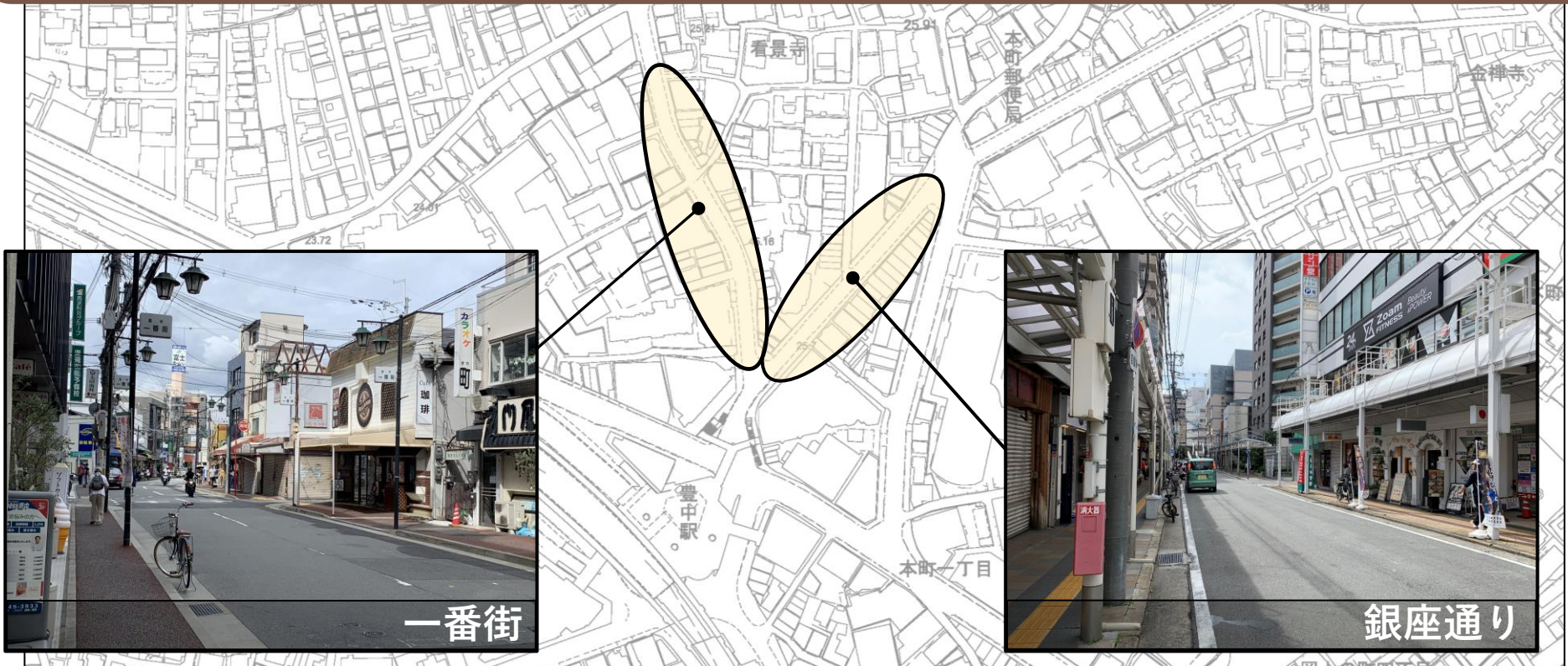
銀座通りと一番街の道路空間の再編整備と空間活用方策の検討について

整備検討項目

道路空間の
再配分の検討

通過交通の流入抑制の検討
(交通量調査)

交通負荷の軽減を検討
(本町南交差点の改良)



一番街

銀座通り

優先的な取組み①・②に関する検討

道路空間の再配分の検討



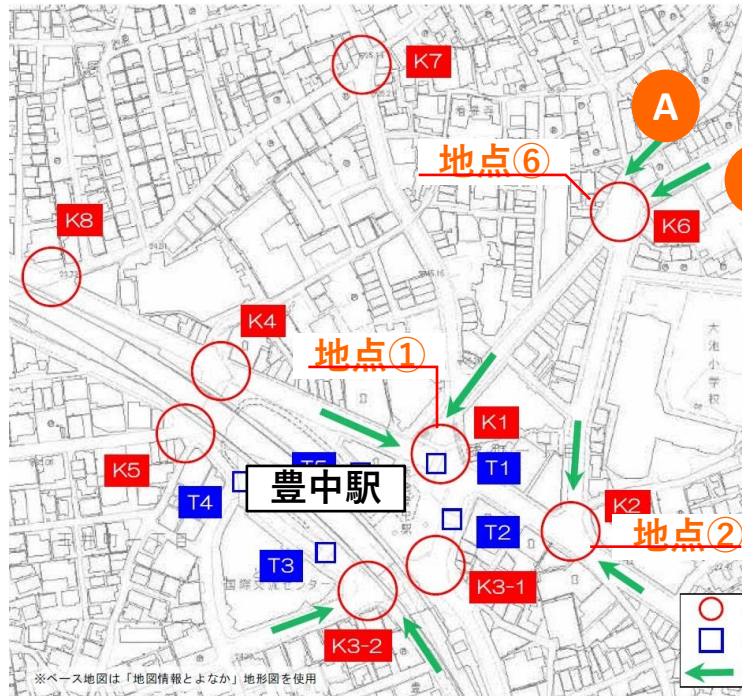
道路空間の再配分の検討

通過交通の流入抑制の検討（交通量調査）

交通負荷の軽減を検討（本町南交差点の改良）

優先的な取組み①・②に関する検討

交通量調査



A 地点の調査当日の様子



B 地点の調査当日の様子



【休日】（12時～19時）

地点番号	令和元年7月	令和6年7月	増減
①豊中本町交差点	8,410	8,217	97.7%
②豊中本町南交差点	8,502	8,616	101.3%
③豊中駅南交差点	3,959	3,768	95.2%
④豊中駅前北交差点	6,567	6,697	102.0%
⑤豊中駅前北交差点	2,142	1,903	88.8%
⑥豊中本町南交差点北	3,809	3,600	94.5%
⑦豊中本町交差点北	833	689	82.7%
⑧豊中駅前北交差点北	5,671	5,887	103.8%
合計	39,893	39,377	98.7%

道路空間の再配分の検討

通過交通の流入抑制の検討（交通量調査）

交通負荷の軽減を検討（本町南交差点の改良）

優先的な取組み①・②に関する検討

豊中本町南交差点について

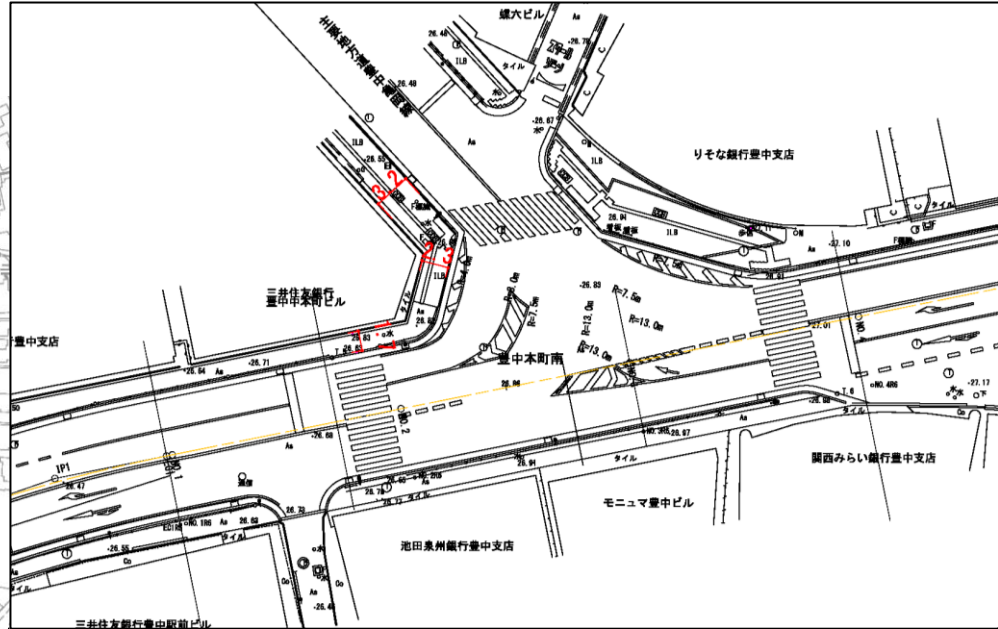
1



2



3



2

1

3

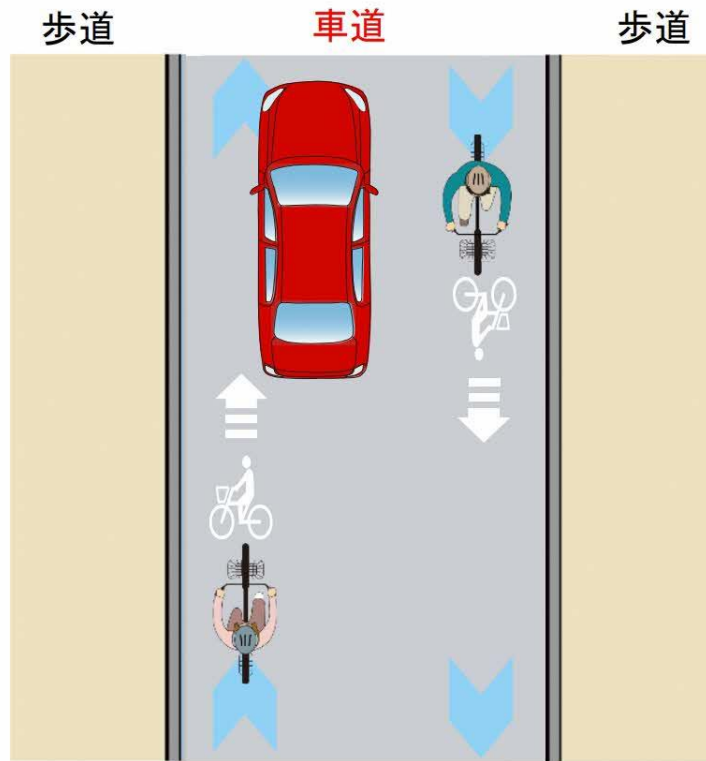
道路空間の再配分の検討

通過交通の流入抑制の検討（交通量調査）

交通負荷の軽減を検討（本町南交差点の改良）

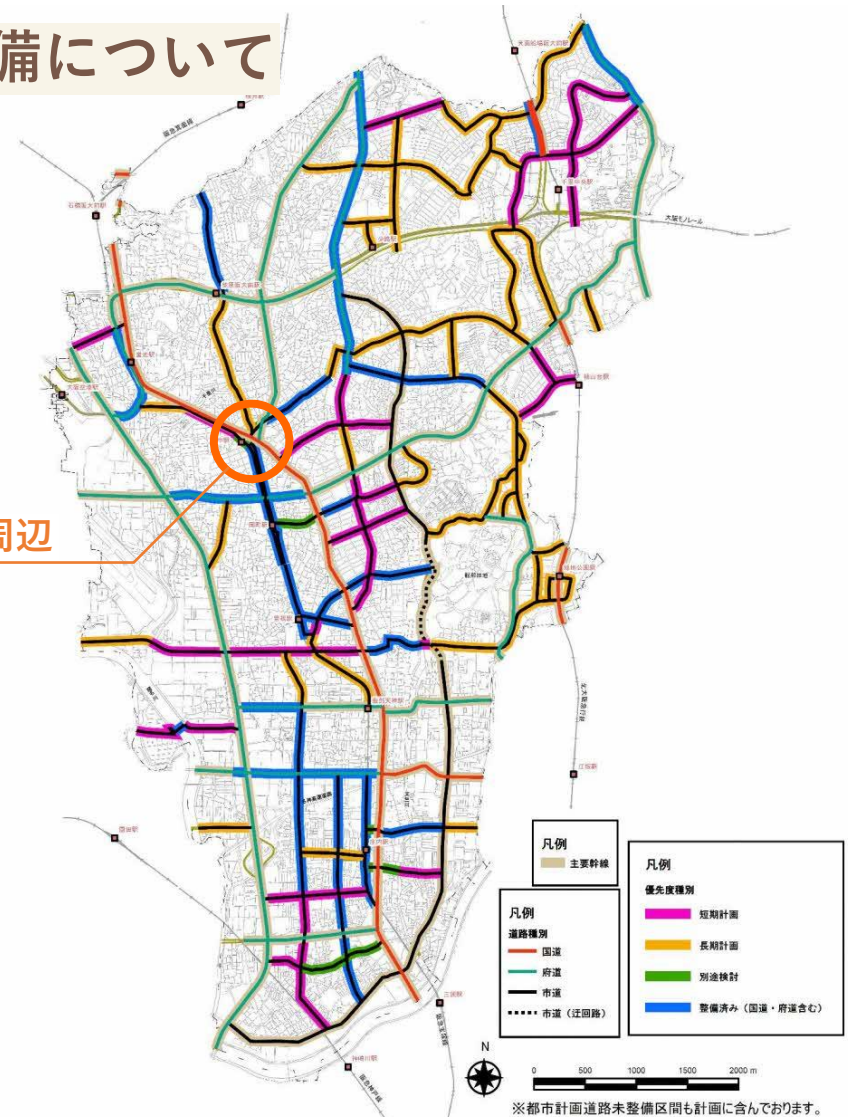
優先的な取り組み①・②に関する検討

銀座通りと一番街の自転車通行環境の整備について



出典：安全で快適な自転車利用創出ガイドライン
(国土交通省)

豊中駅周辺



道路空間の再配分の検討

通過交通の流入抑制の検討 (交通量調査)

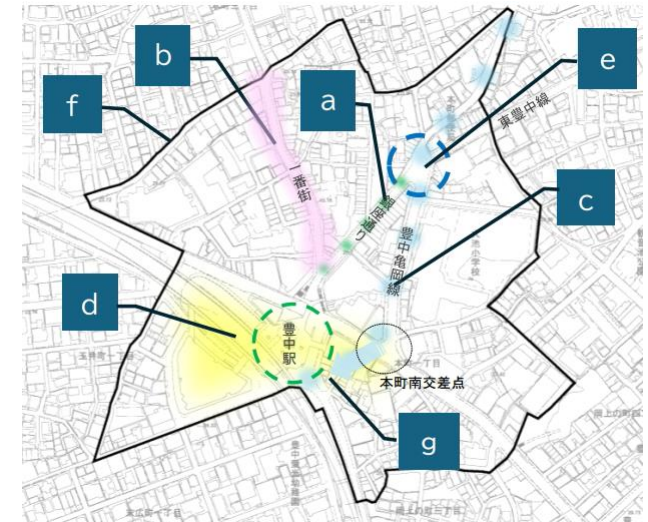
交通負荷の軽減を検討 (本町南交差点の改良)

優先的な取組み①・②に関する検討

目指す将来像と実現するための取組

優先的な取組項目	方向性	実現に向けた取組	目指す将来像
【取組項目①②】 銀座通り・一番街	1-1 現行の道路構成における通行空間の整備	[a] ピクトグラムの整備など自転車通行空間の整備方法を検討し、歩行者・自転車の安全性の向上につなげます。	快適な歩行空間の実現による歩行者・自転車の安全性の向上
	1-2 道路空間拡幅のためのセットバックや低層階への賑わい施設の誘導	[b] 建築物の建替時にセットバックや低層階への賑わい施設誘導のルール化を検討します。	沿道建物の更新に併せた賑わい施設の誘導策を構築して滞在性・回遊性の向上
	1-3 面的整備による複雑な駅前交差点の簡素化	[c] 円滑な動線の確保、交通負荷の軽減に向け、駅前の交差点形状の再編を目指します。 [d] 駅周辺の効果的な一体活用を目指します	銀座通り・一番街の車両交通負荷の軽減

取組のイメージ

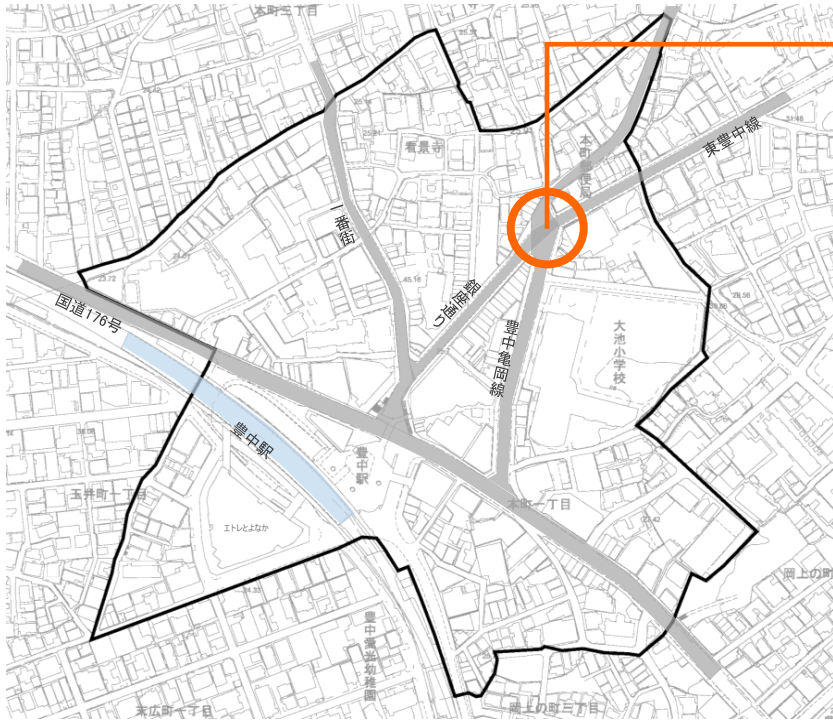


目標スケジュール（予定）

方向性	令和7年度から令和10年度【フェーズ2】	令和11年度以降【フェーズ3】
1-1 現行の道路構成における通行空間の整備	[a]通行空間の整備	
1-2 道路空間拡幅のためのセットバックや低層階への賑わい施設の誘導	制度設計 [b]建替時のルール化の検討	基本計画策定
1-3 面的整備による複雑な駅前交差点の簡素化	地権者協議	[c]交通動線の再構築 [d]一体的活用
2-1 豊中亀岡線の歩道整備及び交差点改良	地権者協議	[e]交差点改良・歩道整備
3-1 「とよなかベース」の活動と道路などパブリックスペースの活用による賑わい創出	[f]「とよなかベース」の活動	[g]パブリックスペースの活用

2 - 2. 優先的取組み項目③

優先的な取り組み③



③ 豊中亀岡線と東豊中線の交差部分の改良

- 歩行者や車両のより安全で円滑な通行を確保するため、関係機関・地域と協働して検討

優先的な取組み③に関する検討

豊中亀岡線と東豊中線の交差部分（スクランブル交差点）の改良について



優先的な取組み③に関する検討

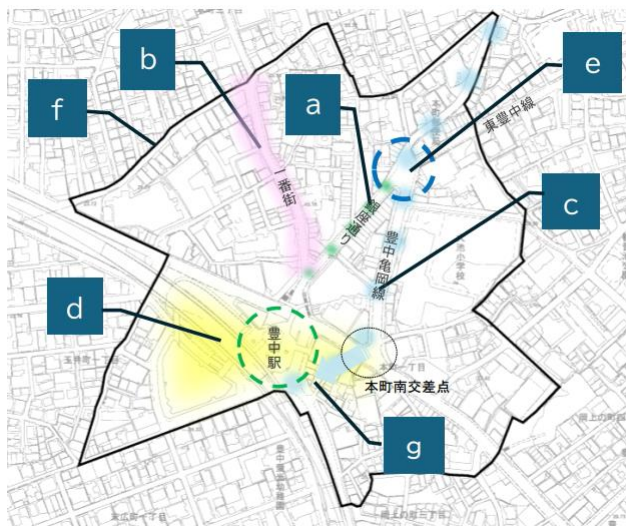
これまでの検討内容

【取組項目③】 豊中亀岡線と東豊中線の交差点部分	・交差点部分の改良と歩道整備を進めるため、大阪府と連携して用地買収を開始した。	●公共整備の推進 ・継続的な地権者協議による交差点部分の整備促進
-----------------------------	---	-------------------------------------

目指す将来像と実現するための取組

【取組項目③】 豊中亀岡線と東豊中線の交差点部分	2-1 豊中亀岡線の歩道整備及び交差点改良	[e] スクランブル交差点を改良し、歩行者のたまり空間及び歩道を整備するとともに、車両の流動性向上による渋滞の改善につなげます。 ● 歩行者の安全性の向上及び車両の流動性の向上による交通渋滞の改善
-----------------------------	-----------------------	---

取組のイメージ



目標スケジュール（予定）

方向性	令和7年度から令和10年度【フェーズ2】	令和11年度以降【フェーズ3】
1-1 現行の道路構成における通行空間の整備	[a]通行空間の整備	
1-2 道路空間拡張のためのセットバックや低層階への賑わい施設の誘導	制度設計 [b]建替時のルール化の検討	基本計画
1-3 面的整備による複雑な駅前交差点の簡素化	地権者協議	[c]交通動線の再構築 [d]一体的活用
2-1 豊中亀岡線の歩道整備及び交差点改良	地権者協議	[e]交差点改良・歩道整備
3-1 「とよなかベース」の活動と道路などパブリックスペースの活用による賑わい創出	[f]「とよなかベース」の活動	[g]パブリックスペースの活用

2 - 3. 優先的取組み項目④



- 地域が主体となったまちづくりへの取組支援
 - ・まちづくりの活動主体に対する支援
 - ・賑わいの創出に向けたイベント展開等 他

優先的な取組み④

- ・「豊中駅周辺再整備構想」実現に向けて
地域と行政の想いを共有・連携を図る場
- ・「**安全性の向上**」や「**賑わいの創出**」が話し合いの軸



優先的な取組み④

令和4年度

第1回
2022.11.13



第2回
2022.12.18



第3回
2023.02.19



令和5年度

第4回
2023.09.03



第5回
2023.09.30



第6回
2024.01.27



令和6年度

第7回
2024.08.25



第8回
2024.12.14



実施取組み内容

豊中芝生ナイトシアターザトライアル
豊中駅前ふれあいフェスタ
とよなかグリーティング

優先的な取組み④の内容

豊中駅前ふれあいフェスタ第1回～第4回



ベンチづくりWS



ボッチャと輪投げ



マチカネくん体操



ワニ解体&鉢植えづくり



とよなかベースの成り立ちについて

R4～6（豊中市 都市整備課）

「豊中駅周辺まちづくりミーティング」

組織の設立

R7～（豊中市 都市整備課）

「とよなかベース」

○できたこと

- ・まちの活動者が集まる場ができた。
- ・イベントに参加してもらい人のつながりが広がった。
- ・まちづくりに参加してもらう第一歩になった。

○できなかったこと

- ・開催時のみの賑わいで、その後の継続性がなかった。
- ・行政主体となっていたこともあり主体性が少なかった。
- ・まちづくりの担い手が思った以上に増えなかった。

ミーティングの活動を踏まえ、場から組織へと発展させ、市民・行政・民間等が連携し、主体的にまちづくりに取り組み継続的に活動できるよう「とよなかベース」を設立しました。

優先的な取組み④に関する検討

これまでの検討内容

【取組項目④】 地域の取組支援	- 人工デッキの活用など、他団体等と連携して取組みを開始した。 - まちの将来像を共有するビジョンと持続的なまちづくりを実施する「とよなかベース」の組織運営を開始した。 事業者等へのヒアリング - エリアマネジメントとして成立させるには、民間と行政との連携やイベントができる広場が必要。	●主体的・自立的な組織運営に向けた取組みの実施 現在の取組みを通じた公民連携のエリアマネジメントの構築
--------------------	---	--

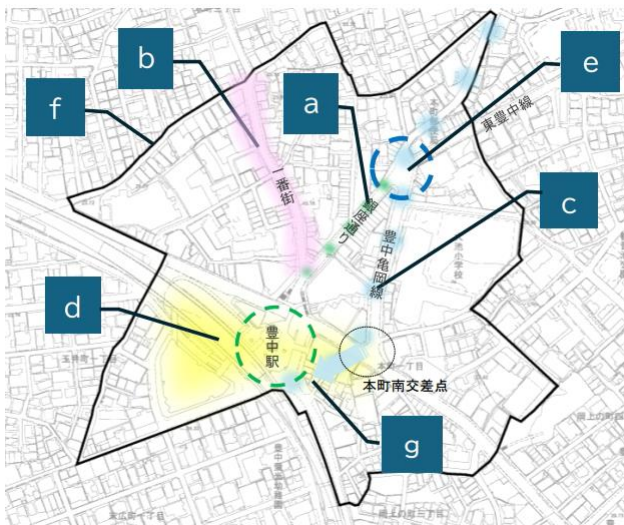
目指す将来像と実現するための取組

【取組項目④】 地域の取組支援	3-1 「とよなかベース」の活動と道路などパブリックスペースの活用による賑わい創出	[f] 「とよなかベース」の活動によりまちの個性を創出します。 [g] 既存空間の活用方法を検討し、構想の実現により創出されるパブリックスペースを地域とともに育てます。	エリアマネジメントによる市民と行政等が連携したまちづくりによるまちの個性の創出
--------------------	---	--	---

目標スケジュール（予定）

方向性	令和7年度から令和10年度【フェーズ2】	令和11年度以降【フェーズ3】
1-1 現行の道路構成における通行空間の整備	[a]通行空間の整備	
1-2 道路空間拡幅のためのセットバックや低層階への賑わい施設の誘導	制度設計 [b]建替時のルール化の検討	基本計画
1-3 面的整備による複雑な駅前交差点の簡素化	地権者協議	[c]交通動線の再構築 [d]一体的活用
2-1 豊中亀岡線の歩道整備及び交差点改良	地権者協議	[e]交差点改良・歩道整備
3-1 「とよなかベース」の活動と道路などパブリックスペースの活用による賑わい創出	[f]「とよなかベース」の活動	[g]パブリックスペースの活用

取組のイメージ



3. まちづくりビジョンについて

豊中市都市整備課が考えるビジョン策定

ビジョンとは…？

なぜ、ビジョンが必要なのか？

「豊中駅周辺再整備構想」を策定し、駅周辺の将来像や再整備の方向性を整理した。



再整備を進めるにあたっては、地域の方々の意見やニーズを取り入れたまちづくりが必要。



「ビジョン」を策定することで、共通認識を持ちながら、活動を進めることができる。

その結果、地域の方々の意見やニーズを取り入れることができる。



まちづくりの機運が高まり、再整備に繋がっていく。

豊中市都市整備課が考えるビジョン策定

これからビジョンを策定する上で、過去に豊中駅前まちづくり協議会が多様な地域関係者の想いを詰め込み策定した「豊中駅前まちづくり構想」をベースにすることが大事だと考えます。その上で、策定するメンバーの想いを詰め込んだ「ビジョンの仮説」を策定し、「ビジョンの仮説」を基に実証・検証を繰り返しながら、広く地域の方々の意見を反映させ、ブラッシュアップを行うことで、地域に関わる全ての関係者共通のまちづくりの方向性となるビジョンを策定していきたいと考えています。

➤ 進め方のポイント

- ・初めから最終形のビジョン策定を目指すのではなく、まずは**策定するメンバーの想いを反映させた「ビジョンの仮説」の策定を行う。**
- ・仮説の策定にあたり、「豊中駅前まちづくり構想」の策定当時に地域関係者が進めてきたプロセスを参考にする。
- ・**ビジョンの仮説を共有するために実証実験を行い、そこに参加された多くの意見等を集約し、ブラッシュアップしていくことで、地域共通のビジョンとして認識されるよう努める。**

ビジョン策定に向けたプロセス

STEP1

まちを知る

- ・まち歩きをしながら、まちの現在の課題について議論を行う。
- ・まちづくり構想について、まち協とともに勉強会を実施する。※まちづくり構想と合わせて、豊中駅周辺再整備構想についても学ぶ。

STEP2

ビジョンの仮説を策定する

- ・まち歩きや勉強会の内容を踏まえ、策定するメンバーで、ビジョンの仮説を作る。
※まち協も一緒に検討していく。
※学識経験者や専門家に意見を聞く。
- ・仮説の確認のために実証実験を行う。
- ・ビジョンを策定するためにコンサル業者へ委託することも必要となるが、コンサルへ委託するには予算が無いため、R9年度の国土交通省の補助金（官民連携都市再生推進事業）の申請を行う。

STEP3

ビジョン策定に向けて

- ・策定したビジョンの仮説をもとに、コンサルとともに実証実験や効果検証を行う。
- ・実証実験を行い、その都度アンケートなどにより意見を集約することで、ブラッシュアップを行い、ビジョンを完成していく。

STEP4

ビジョンの完成

- ・完成したビジョンをもとに再整備構想の実現に向けた基本計画を策定する。
- ・基本計画をもとにまちの整備が進んでいく。

STEP5

整備後のまち

- ・整備後もビジョンの実現に向けてまちでの活動は続いていく。

ビジョン策定までのスケジュール

